

わだち

特集

人・物・文化を
結んだ函館港
200年の物語

達人ノ音写真家

山本直洋

ロジスティード陸上部選手たちのONとOFF

設楽啓太





ロジスティード本社 LOGISTEED CAFÉ

出発 新たな始まり

「和達」の漢字は平和の和・協和の和・和気のとあり、達は発達の達・達成の達・達人の達を表しており、音の由来は轍です。轍は車両の前輪と後輪の軌跡という意味があります。

わたしたちは、前輪の轍を手本や基準としながらも、後輪はさらに進化させながら新しい轍を生み出していきます。読んで楽しみながら物流を知り、さらにロジスティードに親しみを覚えていただけたら幸いです。

商号変更に伴い、より多くの人にロジスティードを知っていただくために、グループ社内報である「わだち」を季刊広報誌としてリニューアルしました。

「わだち」は、ロジスティードグループの社内報として、1952（昭和27）年に創刊された月刊社内報「日東社報」をルーツとしています。1954（昭和29）年に「和達」として創刊され、1969（昭和44）年1月に「わだち」となり、現在に至るまで約70年以上にわたって発行されています。

わたしたちは2023年4月1日にロジスティード株式会社へと商号を変更しました。

LOGISTEED（ロジスティード）は、LOGISTICS Xceed Proceed Succeed x Speedを融合した言葉であり、ロジステイクスを越えてビジネスを新しい領域に導いていく意思が込められています。



函館湾

Contents

特集

04 人・物・文化を
結んだ函館港
200年の物語

SDGsエコレシピ

10 きのこの
石づきさんぴら風

達人ノ音

11 写真家
山本 直洋

ロジスティード陸上部選手たちのONとOFF

14 設楽 啓太

18 Topics

19 編集後記

表紙

八幡坂（北海道函館市）から摩周丸を望む

ロジスティードグループ広報誌
わだち 2023夏号
2023年7月1日発行

編集発行人 金田 陽子
発行所 ロジスティード株式会社
〒104-8350 東京都中央区京橋2-9-2
Tel.03-6263-2803
印刷所 株式会社 日立ドキュメントソリューションズ



函館山の中腹から函館のまちを一望する。左側に見えるのが函館港。
江戸時代には北前船が出入りする港だったが、現在は近代的に整備され、フェリーやコンテナ船、クルーズ船が寄港する。

鎖国が解かれた はしまりの港

北海道の玄関口・函館港は日本
にとって、世界に開かれた「はじ
まり」の港の一つだ。

江戸時代末期の1854（嘉永
7）年、アメリカから来航した軍
人マシューペリーと幕府との間で
日米和親条約が結ばれ、その翌年、
箱館港（当時は「箱館」と表記。
1869（明治2）年に「函館」
と改称）は下田（静岡県下田市）
とともに開港した。長年の鎖国体
制の終焉の時となった。

アメリカが開港を求めた目的は
捕鯨船団の燃料や水、食料の補給
のためだった。
ペリーは和親条約締結後、自ら

箱館を訪れ、港の測量を行い、「安
全性において、世界でもっともす
ばらしい港の一つ」と報告してい
る。

その後、1858（安政5）年
に日米修好通商条約が結ばれ、翌
年、横浜・長崎が開港し、以降は
神戸・新潟と続き、日本で最初の
貿易港（開港5港）となった。

運上所（税関）が設けられ、ア
メリカ・オランダ・ロシア・イギリ
ス・フランスとの間で貿易が始ま
った。やがて外国の商人の往来が
盛んになり、西洋文化の流入によ
って西洋建築が増え、西洋料理店
ビル製造販売店、写真場などが
開店していった。こうして、ハイ
カラな「函館文化」が醸成されて
いったのだ。

函館のシンボル、函館山からそのまちを見渡せば、
現代の建物と明治時代から続く洋館や教会などが混在する様子が見てとれる。
そして、函館港。江戸時代末期、開国の港の一つとなったが、
実はそれ以前から北海道と本州を結び、人・物・文化を運んだ港でもあった。
200年の物語をお届けする。



人・物・文化を結んだ 函館港 200年の物語



函館山を背に、港が見える場所に立つ高田屋 嘉兵衛の
銅像。1958（昭和33）年、函館開港100年を記念して建
造された。



ニシンや昆布、生活用具が往来し 大きな富を生んだ港

北前船で「文化」も運ぶ

そもそも函館港は北海道の南西部、渡島半島の南部に位置し、1440年頃、数十戸の漁村・宇須岸として誕生した。

半島の先、突き出した2つの角の間に深く海水が湾入した巴状の形から「巴港」とも呼ばれるその港は、波が穏やかで、ペリーも「世界最高の良港の一つ」と評したように、天然の良港として昔から知られていた。

函館港が日本の歴史の中で重要な役割を果たすようになったのは、貿易港としての開港よりもさらに

遡る、今から約220年前のことだ。

淡路島（兵庫県）生まれの船持船頭・高田屋嘉兵衛は1796（寛政8）年、1500石積み、約230トンの帆船・辰悦丸で箱館に来航した。当時の箱館は人口3000人ほどの寒村だったが、嘉兵衛はこの地を本拠地とし、北前船による海上交易に参入していった。

北前船とは、北海道と大阪を日本海回りで結んだ商船群のことで、寄港する各地で商品を売り買いし、利ざやを稼いだ。北からはニシンや昆布、南からは衣類や生活用具



函館といえば広い坂道。明治時代以降、何度もまちが大火に見舞われたため、防火帯として直線の広い坂道が整備された。かつて「里程元標」が立てられたことがその名の由来となった基坂（もといさか）。坂の上は旧函館区公会堂。坂の下には函館運上所跡がある。



上／散策も楽しい函館港。奥に見えているのは、はこだて海鮮市場などが入る函館西波止場。左上／金森赤レンガ倉庫のすぐ隣にある高田屋嘉兵衛資料館。左下／旧金森洋物店は現在、市立函館博物館郷土資料館として活用され、建物内を見学できる。明治時代のまちなみを再現したジオラマも展示されている。



函館港に面した金森赤レンガ倉庫。明治時代、洋物店や倉庫業を営んでいた豪商・渡邊 熊四郎によって建てられた。現在はショッピングモールやピアホール、ギャラリーなどとして活用され、函館を代表する観光地となっている。



などが運ばれた。千石船の場合は北海道と大阪の1往復で千両の利益を得ることができたとい、今なら6千万円から1億円に相当する額だとい。

北前船は「文化」も運んだ。北海道の昆布は西日本で出汁の食文化を育んだ。九州が発祥とされる民謡ハイヤ節は新潟県の佐渡おけさになり、青森県の津軽アイヤ節になったという。船乗りたちが寄港先で覚えたものを、また別の寄港先で披露するなどして民謡が伝播したのだろう。

嘉兵衛も北前船を運航させながら、江戸幕府の依頼を受けて択捉航路を開き、箱館奉行に協力して大野村（現・北斗市）への道路改修、箱館山への植林、戸切地村（現・北斗市）の開墾などを行った。また、1806（文化3）年に箱館で発生した大火では、まちにあった全建物のおよそ半数にあ

る350戸が焼失したが、嘉兵衛は自身の店舗も被害に遭いながらも、住民に米や古着を配り、建築用材を津軽や秋田から仕入れて元値で販売。ほかにもさまざまな公共的投資を行い、箱館の都市形成に寄与した。

レンガ積み倉庫群の誕生

北前船の時代、そして貿易港としての開港を経て、函館は栄えていった。

外国人居留地が設けられ、キリスト教系の教会や女学校なども増

えた。地元の大工は外国人の指導を受けながら洋風の建築様式を習得し、和洋折衷の建物を建てるようになっていく。

金森洋物店を営んでいた渡邊熊四郎は1887（明治20）年、2万石収容のレンガ造りの倉庫を建て、金森赤レンガ倉庫となった。その後の大火で一度焼失したが、風格のあるレンガ積みの倉庫群として再建され、現代までその形を残している。今はショッピングモールなどとして、函館を代表する観光地となった。

西日本では 新たな食文化が生まれ、 民謡は南から北へ



参考資料:『はこぶら—函館市公式観光サイト』(www.hakobura.jp)、『北前船KITAMAE公式サイト』(www.kitamae-bune.com)、『北海道遺産完全ガイド』(著:佐藤圭樹、北海道新聞社刊)、『歴史散歩① 北海道の歴史散歩』(編:北海道高等学校日本史教育研究会、山川出版社刊)、『プラタモリ3 函館 川越 奈良 仙台』(監修:NHK「プラタモリ」制作班、角川書店刊)

右上・下/旧函館検疫所台町措置場の建物とその内観。函館旧市内には多くの洋館が残っている。左上/1897年(明治30年)開業の亀函馬車鉄道をルートとする函館市電。湯の川停留場から十字街停留場で分岐し、函館どつく前停留場、谷地頭停車場までをそれぞれ結ぶ。



函館検疫所台町措置場の建物を使った日本茶カフェ「ティッシュョップタ日」店内からの眺め

町ふ頭が整備され、2005(平成17)年に韓国・中国コンテナ航路が開設、それまで取り扱いはなかったコンテナ貨物の取り扱いが始まった。また、2023(令和5)年に市の中心市街地に隣接する若松地区にクルーズ船用ふ頭が完成し、12万総トン級までのクルーズ船受け入れが可能となった。函館港は北海道唯一の重要港湾として、2022(令和4)年



再生資源輸送に利用されているロジスティードグループ所有の専用コンテナと港町ふ頭のジブクレーン



CV(コンテナヤード)から見る函館山

新しい時代の港へ

青函連絡船の就航 貨物列車をそのまま運んだ

函館港は本州と北海道を結ぶ玄関口としての役割も果たした。国鉄(現・JR)は1908(明治41)年から1988(昭和63)年まで、青森と函館を船で結ぶ青函連絡船を運航した。連絡船の車両甲板には列車用のレールが敷かれた空間もあり、貨物列車の車両をそのまま積み込むことができた。食糧や石炭、家畜などを本州、北海道それぞれに運んだ。最盛期には13隻が就航、1日30往復し、80年間で35万回往復した。「連絡船が3日止まれば北海道の物価は2倍になる」といわれたという。

には約3200万トンの貨物を取り扱っている。

また「賑わいと親しみあふれる活力ある函館港」をめざし、物流拠点としての整備のほか、歴史や地域の特性を活かした観光都市としてのウォーターフロント整備が進められてきた。

函館市・港湾空港振興課主査の日角 洋史さんは「現在、港の貨物品移出入の大半はフェリー貨物となっています。函館には空港もあり、北海道新幹線の新函館北斗駅ともはこだてライナーでつながって利便性は高いのですが、やはりここは港から始まったまちです。これからも港の振興に努めていきます」と話す。

近年、函館港はクルーズ船の寄港地としての人気が高まり、2019(令和元)年には47回の寄港を記録した。

「2020年には50回の寄港予定だったのですが、新型コロナウィルス感染症の影響ですべてキャンセルになりました。ただ、2023年は47回の寄港が予定されていて、一気に回復します。港を玄関口に、函館の魅力を知ってもらえればと思います」と日角さん。200年の歴史を経て、函館港は未来へとつながっていく。

その後、青函連絡船は青函トンネルの開通によって役目を終え、現在は数ある連絡船のうちの一隻「摩周丸」が函館港に展示され、船内を見学することができる。また一方でフェリーは今も函館―青森、函館―大間間で定期運航中だ。トラックや家用車、人などを運び、物流を支えている。

近代の港としての整備 クルーズ船に人気の港へ

函館港の港としての整備は嘉兵衛の時代から行われてきたが、近代的な港湾整備としては1896(明治29)年から第1期函館区営改良工事が始まり、外郭施設などの整備が行われた。

青函連絡船の廃止後は再開発が行われ、2004(平成16)年に水深14m、12mの岸壁を備えた港



函館港周辺図



函館市港湾空港部 港湾空港振興課 主査

日角 洋史さん

港湾空港振興の担当になり9年目。「函館は港から始まったまち。港の活性化にこれからも力を注いでいきます」と話す。



右/おだやかな函館港。悪天候によるフェリーの欠航は年間をとおしてほとんどないという。左/青函連絡船「摩周丸」。現在は博物館船として見学できるようになっている。

ロジスティード北日本株式会社 函館出張所 チームワークと営業力で「奇跡のV字回復」!

函館フェリーターミナルから車で10分ほどのところにロジスティード北日本・函館出張所はある。14名の従業員は全員、函館出身者。そのほとんどが10年以上勤務している中堅、そしてベテランの従業員だという。「みんな地場で生まれ、地場で働いています。仲もいいですよ」。そう笑顔で話すのは、函館出張所長の石山 幸雄さんだ。

函館出張所の強みはチームワークと営業力。主な事業はホームセンターの店舗配送だが、一昨年度、事業の一部の取り扱いがなくなり、赤字となった。しかし、すぐに従業員それぞれが営業をかけ、札幌本社の営業支援も受けながら、従業員一丸となって新規案件を獲得した。「奇跡のV字回復です。失った業績分をそのまま新たに獲得し、利益を上げることができました」と石山所長。ほかにも、近隣の別の運送会社と協力した共同

配送を行うなど、地元に基づいた事業を展開している。

函館の魅力は石山所長に尋ねると「人がいい、ということにつきます。住みやすいところですよ」。また、石山所長が頼りにしている係長の吉田 勝さんは、「観光でこれなら、函館山の『裏夜景』がオススメです。函館山の夜景は有名ですが、裏夜景は函館

山の反対側の山から、市街地と函館山を眺めるんです」と教えてくれた。

石山所長からは「函館ではやはりイカを食べてもらいたいです。最近是不漁が続いていますが、もしこられる機会があればご連絡をください。おいしい店をお教えますよ」というメッセージも。ぜひ歴史ある函館へ!



DATA	
住所	函館市西桔梗町589-152
電話	0138-48-0321
従業員数	14名
車両台数	14台

函館出張所長の石山 幸雄さん(左)と 同出張所係長の吉田 勝さん(右)

第1回 「わだち」は漢字で書くと「和達」
この「達」にちなんで各分野の達人を紹介していきます



モーターパラグライダーで 世界7大陸最高峰を空撮する

写真家 山本直洋さん

プロペラ付きエンジンを背負い、自由に空を舞うことができるモーターパラグライダー。そのモーターパラグライダーで世界7大陸の最高峰を空撮するプロジェクトに挑戦しているのが写真家の山本直洋さん。「地球を感じる」をテーマにVF空撮に挑み続ける山本さんに話を聞きました。

ロジスティードグループ保養所
サン・アンド・サン荘 伊豆高原
料理人が教える



vol. ①

今回の再利用食材は…
きのこ

きのこの石づき きんぴら風

しめじ・エリンギ・えのきなどのきのこ類の石づきを「もったいない」と思いながらも捨てていませんか？
抜群に美味しい惣菜に大変身する活用法を教えてくださいました。



作り方

- 1 石づきは冷凍のまま、食べやすい長さに切った糸こんにゃくと一緒にさっと茹でる
- 2 ザルにとってそのまま約1時間置き、しっかり水分を切る
- 3 フライパンに油をひき②を炒める
- 4 全体に油が絡んだら醤油、酒、砂糖を加え炒め、全体に馴染ませる
- 5 最後にみりんを回しかけ混ぜたら火をとめる
- 6 好みで枝豆を添え一味や七味を振る

材料

- 石づき(しめじ・エリンギ・えのき・椎茸など)
細かく割いて天日干しした後冷凍保存し
100~200g溜めたもの
 - 糸こんにゃく(石づきと同量)
 - 醤油
 - 酒
 - みりん
 - 砂糖
 - ごま油(適量、サラダ油でも可)
 - 七味
 - 一味
 - 枝豆
- ※ 大きじ1~2 (好みで調整) 適量



一回の料理では量が取れないので、干して水分を飛ばしてから冷凍にして作りやすい量になるまで溜めておきます。冷凍前に割いたり、千切りにしたりしておく調理も楽です。

きのこの類は基本的には全部食べられます。しかし、石づきの部分はやや硬いですし、菌床が付いていることもあって多めに切り落としがちです。栄養価が高いだけに捨ててしまうのはもったいないですね。こういった端材は出た都度天日干しにして水分を飛ばし、作りやすい分量になるまで冷凍保存しておくのがおすすめです。室内で干す場合、風に当たったほうが傷まず早く乾くので、窓を開けておくか扇風機で風を送ると良いでしょう。夏の晴れた日なら半日で十分ですが、雨の続く日は2、3日かかることも。冷凍から戻す時は茹でた方が臭みが取れます。あとは調味料と合わせて炒め煮にするだけで簡単にご飯やお酒がすすむ一品に。干しているので旨みも栄養価も増して一石二鳥です。



「未知に挑む。そんな点で共感していただき、2023年からロジステードのスパonsorードを受けています」と山本さん。次はオーストラリア大陸最高峰・コジオスコの空撮をめざす。



ラジオゲスト出演情報：J-WAVE LOGISTEED TOMOLAB. TOMORROW LABORATORY
7月29日(土) 20:00~20:54

プロペラ付きのエンジンを動力に、パラグライダーという羽で大空を舞うモーターパラグライダー。山本直洋さんはモーターパラグライダーを操り、上空からの撮影を得意とする写真家だ。

「今はドローンを使って、簡単に空撮を行うことができます。私も仕事の撮影ではドローンを使っています。でも、ドローン撮影はモーター越しの撮影でしかなく、上空の風の冷たさやその匂い、刻々と変わる空や雲の色を生身で感じることはできません。上空では思わず涙が出るような『地球を感じる』光景や瞬間と出合うことがあります。その感動を写真で切り取り、伝えるためにモーターパラグライダーで飛んでいます」

誰もやったことがない フライトへの挑戦

そう語る山本さんは現在、世界7大陸の最高峰すべてをモーターパラグライダーで飛行し、空撮するプロジェクト「Above the Seven Summits Project」を進めている。世界で誰もやったことがない、成功すれば世界初となる挑戦だ。

「写真を観るみなさんにも、鳥になったような視点でダイナミックな地球を感じてもらいたいと考え



自分の感情をのせてシャッターを切っています。また、プロジェクトには今の地球の自然を記録するという目的もあります」

プロジェクト第1弾として2022年2月、アフリカ大陸の最高峰・キリマンジャロ(5895メートル)を空撮してきた。タンザニアにある山で、赤道付近に位置しながらも山頂近くは氷河を抱く山だ。

「計画としては6000メートルほどの高さまで飛び、キリマンジャロ頂上の上空からの撮影を予定していましたが、モーターパラグライダーのエンジン部品にトラブルが発生し、結果的にはサブのエンジン機で5180メートルの高さまでしか飛ばせませんでした。頂上は越えられず、反省と後悔が残る撮影になってしまいました。いつか再挑戦を考えていますが、

プロジェクトとしては次の大陸をめざすことにしました」

次の大陸とはオーストラリア大陸のことで、同大陸最高峰・コジオスコ(2228メートル)での撮影を2023年9月に予定している。その後、1年に1大陸ペースで撮影を進め、最終的にアジア大陸最高峰であり、世界最高峰のエベレスト(8848メートル)をめざす。

「地球を見た」 ノルウェーでの原体験

まさに未知に挑み続ける山本さんだが、原点は幼少期にあった。「幼い頃からウルトラマンになったり、ドラえもんやタケコプターをつけて飛ぶ夢をよく見て、空への憧れを持っていました。また、

中学生時代は親の仕事の関係でノルウェーにいたのですが、約600メートルの高さがあるフィヨルドの絶壁の上へ行き、感動したのを覚えています。その時は、その絶壁から続く山へ一人で登り、また別の絶壁と出合うことができた。それが『地球を見た』という原体験になったのです」

その後空への憧れは持ち続け、糧にしていきたいと考えていたが、具体的な方策は見つからず、大学卒業後はIT系企業に就職した。そしてある時、書店での立ち読みでモーターパラグライダーを知り、写真と組み合わせれば仕事になるのではないかと考えたことが写真家への入り口となった。

「写真の勉強をしようとニューヨークへ行き、たまたま写真スタ

ジオで働くアメリカ人と知り合いになったこと

や、帰国後、パラグライダースクールの経営者であり、私の空撮の師匠となってくれた塚部省一さんと出会ったおかげで、今の私がいます」

ただ、すべてが順風満帆にきたわけではなく、30代になってもパイプを3つ掛け持ちし、生活費を稼いだこともある。また、プロジェクトのトレーニング中の事故で2カ月入院したこともある。

「でも、多くの方に支えていただき、プロジェクトを進めることができています。私は写真で恩返しをしていきたいと思っています」

これからも「誰も見たことがない」光景を見せてくれるはずだ。



モーターパラグライダーを使って日本、そして世界各地で飛ぶ山本さん。「想像を超える景色と出会ったときが一番感動します。その感動を多くの人に届けたいと思い、シャッターを切っています」と話す。

やまもと なおひろ ●1978年、東京生まれ。ニューヨークのフォトスタジオに勤務後、ファッションフォトグラファー、風景写真家に師事。2008年に独立し、フリーランス・フォトグラファーとして活動する。モーターパラグライダーによる空撮を得意とし、「Earthscape」と題して「地球を感じる」写真をテーマに作品制作を行う。動画も含め、スカイダイビングやウイングスーツ、ドローンによる空撮も行う。現在、世界7大陸最高峰をすべてモーターパラグライダーで飛行しながら空撮するプロジェクト「Above the Seven Summits Project」を進行中。2023年からロジステードとスパonsorード契約を結んでいる。



Q 陸上部所属ですが、オフィスワークもしているのですか？

週2日、松戸研修所内（千葉県松戸市）で勤務しています。午前10時から午後2時まで、昼休みを挟んで3時間勤務です。その日に必要な仕事が割り振られます。今（2023年4月）だったら、商号変更に伴うプレートなどの付替え

「オフィスの仕事は
確実にプラスになります」

春から新たなスタートを切ったロジスティード陸上部。2017年9月の入部以来、チームの重要な戦力となってきた設楽啓太選手に普段は聞けないオフィスワークのこと、オフの過ごし方、これからの目標など、いろいろ伺ってみました。

Q 食事には
気を使うのですか？

食事は基本的に、陸上部の食堂で出されるものをいただいています。食べ物へのこだわりはあまりないのですが、実は嫌いな食べ物が多くて……。たとえば、トマトはダメなんです。そのほか結構、苦手なものがたくさんあって、食べられないものが多いんです（苦笑）。みなさんが思われるほど、厳しい栄養管理をしているわけではありません。



Q 普段の練習の
スケジュールを
教えてください。

僕の場合は午前5時半ごろに起き、ストレッチなどをして5時50分から始まる全体の朝練習に参加。朝は1時間程度、走ります。勤務のない日は午前11時から全体の練習がスタート。午後は体のメンテナンスなどに充て、午後4時からまた全体練習が始まります。全員で一度集まった後、各々が自分のコンディションに合わせて、1〜2時間くらい練習を行います。

Q オフィスワークの
いいことは？

会社のことがわかることです。たとえば本社勤務の時には郵便物の仕分けや、その郵便物を各フロア、各部署へ届ける仕事をしていたのですが、そうすると社内の様子を知ることができ、従業員のみなさんと顔を合わせることができ、試合前など「応援に行くよ」が「んばってね」と声を掛けてくださるので、みなさんから応援されていることを肌で感じました。オフィスワークは選手として確実にプラス材料になります。

Q 好きな食べ物は？

甘いものが好きで、ケーキも好きです。モンブランとか、よく買います。コンビニのスイーツも今はおいしいものがたくさんありますよね。近所のセブンイレブンは好きつけです（笑）。スターバックスもよく行くのですが、苦いものが苦手なので、フラベチーノの期間限定ものやキャラメル系をいつも頼みます。でも、お酒も好きですよ。休日は友達と居酒屋で飲むことが多いです。飲む時はビール派です。



設

ロジスティード陸上部
選手たちの
ONとOFF
vol.1
Keita Shitara

楽

啓

太



Q

同じく陸上選手である双子の弟・悠太さんとの関係は？

仲いいですよ。よく一緒に飲むし、LINEでいつも連絡を取り合っています。悠太はこの春、所属していたHondaを退職したのですが、その前にも相談を受けていました。退職後はフリーとなりました。新しいチャレンジをするということなので、お互い励まし合っています。僕が今も競技を続けていられるのは弟がいるからだし、二人揃って結果を出せることが一番うれしいことです。

こちらからもみなさんの顔は見えていて、応援してくれているとうれしくなります。



Q

オフの日はどう過ごしていますか？

土曜も午前中は練習があるので、まるまる1日休みなのは日曜だけです。僕は出掛けることが好きなので、休日に部屋にいることはほとんどありませんね。東京へ出て友達と遊んだりしています。アウトドア派なので、新型コロナウイルス感染症の拡大前はバーベキューもよくしていました。焼き肉も好きですよ。

Q

陸上を始めたきっかけは？

両親に勧められて、小学6年生の時に近くの陸上のクラブチームに入ったことがきっかけです。ただ、特に足が速かったとか、両親も陸上の選手だったということではなく、体作りとか、体力をつけるために勧めてくれた感じです。

Q

趣味を教えてください。

野球観戦です。日本が優勝したWB（ワールド・ベースボール・クラシック）は全試合を観ていました。大谷選手、すごかったですよね。プロ野球では昔から巨人のファンで、いつも試合を観ています。

Q

いつも素敵な髪型ですが、ヘアカットは理容室派？美容室派？

（東京の）吉祥寺にある美容室で切ってもらっています。昔からの行きつけで、今も松戸から吉祥寺へ通っています。

Q

ロジスティード陸上部に入学して6年目。ここで得られたことは？

マラソンはロジスティード陸上部に入部してから始めました。マラソンという競技と向き合い、新たに始められた場所です。ただ、まだいい結果を残せておらず、モヤモヤとした気持ちはあります。日本ではマラソンは注目の競技ですし、しっかり結果を出したいという気持ちが強くなっています。応援してくれるみなさんに喜んでいただくことが僕の喜びになります。

Q

好きなタイプは？

元AKB48の大島優子さんのファンでした。どちらかというと、かわいい系の方がタイプですね。異性の好みだけは悠太のタイプと違って、被らないんです（笑）。

Q

沿道の応援は力になりますか？

それは間違いなく、大きな力になります。走っているこちらからもみなさんの顔は見えていて、応援してくれているとうれしくなります。パフォーマンスも変わってきます。

Q

これからの目標は？

今はマラソンをメインにしているので、今年はマラソンで結果を残したいです。僕は「タイム」というよりも「順位」にこだわりたいので、レース内での勝負を常に意識しています。まずは8月に開催される北海道マラソンに照準を合わせています。応援していただけるとうれしいです。

したらけいた ●1991年、埼玉県生まれ。武蔵越生高校、東洋大学経済学部卒業。コニカミノルタ陸上競技部を経て、2017年9月、日立物流陸上部（現・ロジスティード陸上部）に入部。2014年1月、第90回箱根駅伝で5区区間賞、2016年2月、熊日30キロロードレース2016優勝。

ソープボックスダービー・ナショナルチーム選考会 開催

「2023ソープボックスダービー・ナショナルチーム選考会 神奈川大会」(NPO法人日本ソープボックスダービー協会主催・ロジスティード協賛)が5月27日、トレッサ横浜で開催されました。

ソープボックスダービーはアメリカ発祥の子どものためのカーレースで、動力のないカート「ソープボックス」で坂道を下り、タイムを競います。大会当日は8~13歳の子どもたちが参加し、優勝者には7月にアメリカで開催される世界大会への出場権が進呈されました。また、(株)バンテックは交通イベントとして「トラックの死角体験コーナー」や「モックカー工作体験コーナー」を設け、交通安全への理解を深める活動に取り組みました。



「第4回 関西物流展」出展

ロジスティードとロジスティードソリューションズ(株)は4月12~14日までの3日間、インテックス大阪で開催された「第4回 関西物流展」に共同出展しました。この展示会は、物流業界が抱える課題を解決する最新技術を出展する西日本唯一の展示会です。



株式会社プロジェクトカーゴ ジャパン商号変更

この度、株式会社プロジェクトカーゴ ジャパンは、7月1日付で「ロジスティードKWE株式会社」に商号変更しました。

今後もロジスティード株式会社と株式会社近鉄エクスプレスの合弁会社として、お客様に新たな物流ソリューションを提供すべく取り組んでいきます。

*「わだち」の無断転載はご遠慮ください。
*本誌内においては会社名の敬称を略しておりますので何卒ご了承ください。

お問い合わせや感想はこちらまで

わだち編集事務局：wadachi@logisteed.com

編集後記

広報誌「わだち」が創刊されました。特集には、物流の要所となる「港」(海の港・空の港)をテーマに各地を巡り港の歴史を紐解き、その地で活動をする当社グループ会社も併せて紹介していきます。世界へ開かれた「はじまり」の港のひとつである函館港は、まさに創刊号にふさわしい港として選びました。読者のみなさんに、新しい「わだち」を通して多くの方とコミュニケーションが広がることを期待しています。(金田)

ついに「わだち」がリニューアルしました。初特集は、新しい出発からの連想で近代日本の幕開け、開国の最初の港のひとつ、函館です。写真撮影・取材をとおして、街中のレトロな建物やどこか懐かしい雰囲気の市電、優しい人々とふれあうことができました。またぜひ再訪したいまちです。「わだち」もロジスティードグループの新しい顔となり、読者に永く愛され、何度も読みたくなるような広報誌を目標とし精進します。(谷野)

広報誌「わだち」が発行されました。これまでのグループ社内報とは異なるテイストで制作しました。今回は港や達人ノ音、SDGsエコレシピ、ロジスティード陸上部の選手にスポットを当てた特集などさまざまなコンテンツを掲載しています。この冊子を通して、社内外の方々に楽しく読んでいただき、ロジスティードグループについてより深く理解してもらえたらと思います。これからも皆様に愛される広報誌をめざしていきます。(三室)

新商号「ロジスティード株式会社」として事業開始

2023年4月1日より、新商号「ロジスティード株式会社」として、2023年度の事業を開始しました。それに先立ち、ロジスティードグループとして一体となって進んでいくため2023年3月31日に、キックオフイベント「Taking on the Future LOGISTEED」を開催しました。

Kohlberg Kravis Roberts & Co. L.P.との強固なパートナーシップにより、さらなる事業成長および企業価値向上をめざしていきます。皆様には引き続き、変わらぬご理解とご支援を賜りましょう、よろしくお願い申し上げます。



千葉県松戸市主催「春の青少年教室」へ協力

ロジスティード陸上部は4月22日、千葉県松戸市が主催する「春の青少年教室『運動会直前攻略法!!~かけこで速く走れるコツ~』」に講師として参加しました。ロジスティード陸上部は2021年10月に「陸上競技を通じた地域振興・地域貢献の相互連携に関する協定」を松戸市と締結しており、両者の連携によって、地域活性化に向けた取り組みを進めています。この教室には開催初年度の2015年より参加し、継続して講師を務めています。



福島県のNPO法人に災害用備蓄品寄付

3月21日、フードロス削減の観点から水の利活用に取り組んでいるNPO法人「FUKUSHIMAいのちの水」に、本社・ロジスティードビル(東京都)の2023年度に入れ替え予定の災害用備蓄品を寄付しました。

「グループ人権方針」制定

ロジスティードグループは、人権尊重の取り組みをグループ全体で推進するため、「ロジスティードグループ人権方針」を新たに制定しました。

この人権方針は「ロジスティードグループは 広く未来をみつめ 人と自然を大切にし 良質なサービスを通じて 豊かな社会づくりに貢献します」という経営理念のもと、人権にかかわる国際規範や国際基準に基づき、ロジスティードグループの事業活動において影響を受けるすべての人々の人権と尊厳を守るために、私たちがとるべき行動を定めたものです。



「OTTAVA Accademia」に特別協賛

日本でただひとつのクラシック音楽専門インターネットラジオ「OTTAVA」が主催するWebセミナー「OTTAVA Accademia」に特別協賛しています。このセミナーはクラシック音楽がもっと楽しくなる「ツボ」を分かりやすく深掘りします。アカウント作成は必要になりますが、5月以降配信開始のオンライン講座であれば、どなたでも無料で視聴いただけます。



アカウント作成はこちらから▶



